

日 時	令和4年7月14日(木)
視 察 先 1	愛知県豊田市足助「おいでん・さんそんセンター」
研修テーマ（視察項目）	移住・定住対策の取組状況と課題について
<p>① 取組の経緯・内容など</p> <p>センターは自ら独自の活動を行うというよりも、活動をしている団体が直面している課題（集客、地元の理解、企業とのマッチングなど）をフォロー するために行政側から派生した団体。あくまで「中間支援」 ・行政でも民間でもない団体 ・数々の団体やプロジェクトが地元で、信頼され浸透できるように中間支援 ・そもそもは 2000 年の東海豪雨をきっかけとして、合併後の豊田市は中山間地に大きな予算をつけ人口増加を図ったが、逆に人口減少が加速した。</p> <p>耕作放棄地を活用して農業を通じて人材育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会貢献・研修 ・大学や研究機関の調査など ・都市部市民の農業体験など ・山村部での起業支援など <p>等の内容を聞いた。</p> <p>「中間支援」というものの必要性を認識した。同時に民間と行政の距離感、どのような関わり方が良いかも考えることができた。つまり、 移住にしても地域での様々な活動にしても、末端の活動は民間の企業、団体、 プロジェクトが行なうと良い。それは民間の方が活動の広がりやすさや細か なアップデートが可能であるからで、その点行政は様々な制約や年度ごとで しかアップデートできない、または一度始めたらなかなか修正ができないからだ。しかし「資金」「信頼性」「外部へのコネクション」といった部分が民間の弱さだ。これを行政が補えると良い。ただ、継続的な中間支援を行なっていくことを考えると定期的な部署変更や適正人材の投入など役所仕事で は収まらない業務ができてくる。そういった経緯があり、豊田市では一社化し、行政と民間の 両方の性質を持つ団体として「おいでん・さんそんセンター」を立ち上げた。</p> <p>② 今後の課題など</p> <p>立案は行政でも民間でも良いが、行政が末端の活動を行わないこと。その代わり行政は民間に伴走ながら不足しているものを補うこと。そのような 関係性が必要であると感じた。</p> <p>③ 本市に反映できると思われる点</p> <p>元々あった集落や拠点(役場)を中心に事業を展開していくことが出来たと感じた。本市でも同じことをやろうとするならば、岡部支所や、かしばや、藤の瀬会館の有効的な利用方法で変える拠点到まずしていけたらと感じた。</p> <p>④ その他（感想、意見）</p> <p>ここでは豊田市の大きな財政と拠点が あったことが、大きな軸になっていると感じた。</p>	

日 時	令和4年7月15日(金)・16日(土)
視 察 先 2	徳島県神山町産業観光課、「(一社)神山つなぐ公社」、他
研修テーマ(視察項目)	移住定住対策の取組状況と課題について
<p>① 取組の経緯・内容など</p> <p>2015年12月、神山町は地方創生の流れの中、創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を策定しました。神山つなぐ公社は、このプロジェクトを、スピード感と柔軟性をもって実現してゆくために設立された一般社団法人。</p> <p>5年目の節目(1期最終年)に、町役場と住民や出身者など多くの方々が、「いま、まちで暮らす人々のためにできること」「将来世代のためにやっておきたいこと」を話し合い考えられた施策群。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバー網 光ファイバーは神山町のような山間部の町にも漏れなく張り巡らされ、その通信速度は東京よりも速いそうです。現在日本でも耳慣れてきたサテライトオフィスやリモートワーク、これから定着していくであろうワーケーションなどといった新しい働き方は、インターネット環境が最大の鍵になると感じた。 ・芸術や文化の観点からまちづくりを進め海外も含めて芸術家の移住や企業者の移住、サテライトオフィスの進出と新たな人の流れが出来、そこにサービス業が生まれ、結果として農業の分野に影響を与え、そこで生産された農作物にブランディングし都市圏のレストランへと流れ価値を高めていった。 ・サービスを自地域で作り上げることで農業が活性し、その景観を作ることで観光を呼び込む。 <p>② 今後の課題など</p> <p>「地域住民と移住者をつなぐ」地域住民と移住者を繋ぐ「場」の不足地域住民は、移住者が入ってきたことで、町が活気付いていると感じてあり、観光客も増えてきて、良かったと思っている。そして、もっと移住者と繋がってみたいと思っている。</p> <p>しかし、移住者のことをあまり知らないため、移住者に偏見の目を持ってしまったり、自分たちからは関わりづらいと思っている人は少なくない。</p> <p>以上のことから、移住者と地域住民を繋ぐ人や場の創設が必要であり、お互いに本音で話をする場や機会の創設を行うべきである。これらの取り組みを行うことで、移住者の長期定住化に繋がると考えられる。</p> <p>③ 本市に反映できると思われる点</p> <p>豊田市でも記述したが、元々あった集落や拠点(役場)を中心に事業を展開していくことが出来たと感じた。</p> <p>本市でも同じことをやろうとするならば、岡部支所や、かしばや、藤の瀬会館の有効的な利用方法で変える拠点到まずしていったらと感じた。</p> <p>④ その他(感想、意見)</p> <p>今回の視察ではそこで暮らす住人はもとより、外からの意見、一度外に出て戻ってきた人の「想い」が一番感じた。</p> <p>何年後かにあ消滅してしまうかもしれないというデータから、しっかりと計画を立て、実現していく物語が神山にはあることを感じ、とても感銘を受けた視察だった。</p>	

